

研究会開催のご案内

研究会代表 安永 悟
(久留米大学文学部)

秋晴れの気持ちの良い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
さて、下記の要領で「授業づくり研究会」を開催します。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

参加予定の方は事前にご一報ください。資料の準備などがありますので、ご協力ください。申込はできるだけ安永研究室のHPからお願いします。もちろん、当日参加も可能です。案内が直接届いていない方も大歓迎です。皆様とお目にかかれることを楽しみにしています。

なお、研究会の後、懇親会を予定しています。こちらは準備の都合がありますので、参加希望の方は必ず連絡をお願いします。

- ご注意：1. 今回は会場が変更になっています。
2. 大学祭「あのか祭」が開催されています。

記

1. 日時：11月1日（土） 13時～17時まで
2. 場所：久留米大学御井キャンパス 御井図書館3階
3. 参加資格：協同教育(学習)に関心のある方
4. 参加申込：安永研究室のHPからお願いします。手順は次の通りです。
 - ① HP (<http://yasunaga.me/wiki.cgi>) へ進む。
 - ② トップページ左側の「イベント情報」内にある【イベント参加申し込み受付中】をクリックする。
 - ③ イベント申込みフォームに必要事項を記入し、送信する。(注意) HPからの申込に対して、当方からの返信はありません。返信が必要な方は、申込時にその旨を記入してください。
5. 研究会の内容
 - (1) 挨拶・導入 (担当：安永 悟・久留米大学)
 - a. 研究会への導入と、協同学習に関する最近の動向などを紹介します。

- b. 簡単なグループづくりと協同学習に関する基本事項の確認も行います。
- c. 技法の体験：今回は「スリー=ステップ=インタビュー」を組み込んだ仲間づくりを行います。

(2) ワークショップ（担当：岩田好司・久留米大学）

- a. タイトル： 教育ファシリテーションにおける「ランク」の気づき
－「教室内カースト」へのグループアプローチ－

- b. 内容：

人は社会集団を作るが、社会集団内、そして社会集団間には力関係の問題が生ずる。こうした力の上下関係を「ランク」（地位、序列）と呼ぼう。私たちが日々向き合っている学習者集団にも当然ランクの格差が存在する。学力、運動能力など個人的な要素によるランクもあれば、所属する小グループによって与えられるランクもある。また、この小グループ内にもランクがある。ランクが長期間にわたって固定化すれば「カースト」（身分）という形容がふさわしくなるだろう。

他方、協同学習は人種、民族、障害の有無、男女差、能力差などの多様性・多文化共生にともなう葛藤を困ったこととしてとらえるのではなく、むしろ豊かな学びを可能にする資源としてとらえなおす。実際、共通の目標に向かって協同することによって偏見が低減し、集団間の人間関係が改善することが実証されている（Slavin, 1990など）。協同学習を通じて学習者は、多様な差異やそれにとともなうコンフリクトを乗り越えて協同することを学ぶのである。

とはいえ、このような肯定的な学びが得られるようにするには教育ファシリテーターとしての教師の側に、力関係に関する一定の感受性が必要になってくるだろう。力関係に対する学習者の気づきの高まりが協同の促進に直結するからである。ファシリテーターは自他のランクに気づいていると同時に、学習者にランクの自覚を促していく必要がある。

そこで本ワークショップでは、以下の学びを目標とする。

1. ランク理論を学び、ランクに対する気づきを高める
2. グループアプローチを体験し、教室特有のランクを意識化していく
3. ランク理論や上記グループアプローチを、各自の教室現場でどのように応用し、教室コミュニティーをつくっていくかを考える

6. 懇親会のお知らせ

研究会終了後、西鉄久留米駅界隈での開催を予定しています。参加希望者は、10月27日（月）までに、安永研究室のHPから申し込んでください。

7. 問い合わせ先

ご不明な点があれば、下記までお願いします。

安永悟 yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp

以上